

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新座校		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士が2名所属していること	専門的支援実施計画に基づいて細かく子供に支援ができている。	児童指導員の職員が保育士試験に挑戦し更なる高みを目指す
2	・職員間の連携がとれているところ	朝礼時に打合せや指導員間ミーティングで子供の情報共有を行っている。	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・言語聴覚士・作業療法士・作業療法士の職員がいない	募集をかけているが地域での採用がなかなか難しい。	近しい支援ができるような勉強を行う。
2	・職員の入職期間が短く経験値が浅い	事業所の中での研修やユニット内・ブロック内での研修機会自己研鑽を行いより良い療育ができるような体制作りを継続していくこと。	事業所の中での研修やユニット内・ブロック内での研修機会自己研鑽を行いより良い療育ができるような体制作りを継続していくこと。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」新座校					公表日	2025年2月15日			
					利用児童数	11		回収数	11	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	0	0	①小さいスペースもありますが活動内容によっては使い分けられています。②ちょうど良いお部屋の大きさです。③勉強だけではなく運動のスペースもあり様々な支援を受けさせてもらっています。	ご意見ありがとうございます。支援内容によっては場所の変更もございますのでご協力の程宜しくお願い致します。			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	2	①子供にとってコミュニケーションの取りやすい人数です。②1対1で丁寧に指導してもらっています。	ご意見ありがとうございます。個別支援となりますので適正な指導員数で運営しております。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	1		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0	綺麗でいいです。	ありがとうございます。清潔を保てるように進めてまいります。			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	1	毎回報告していただいておりますが1つ1つの活動がどの特性に働きかけたものなのかがわかりません。	ご意見ありがとうございます。フィードバック時にわかりやすくかつ簡潔にお伝えできるように進めてまいります。			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	1		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	1	①まずは慣れるが目的になっていたため具体的なものはなかった気がします。②子供の成長に合ったものを作成して頂いています。	ご意見ありがとうございます。ご利用開始当初は半年間かけてお子様の様子を確認していく目標設定になっております。その後、お子様の本題を進めてまいります。			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	2		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	2	毎回支援内容を考えてくださってとても良いです。	ありがとうございます。今後も固定化にならないように努めてまいります。			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	0	0	5		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0	丁寧な説明を受けました。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1	0	0		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	1	4		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	10	1	0	0	毎朝丁寧にフィードバックしていただいております。こちらでも家庭や園の様子も伝えられています。	ありがとうございます。これからもよりよくコミュニケーションが取れるように努めてまいります。			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	1	1		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	1		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	3	4		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。			
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	1	2		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	1	3		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	0		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2	1	1		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	0	4		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	2		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	3		今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0	人見知りの子供も安心しております。	ありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1	0	0	①本人が何より楽しいと通っているのが親として満足です。②最初の頃は嫌がっていましたが今ではすごく楽しく通っています。	ありがとうございます。楽しく通い続けられるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1	0	0	満足しています。少しずつコミュニケーションの取り方が上手になっていて泣けるほど嬉しいです。	ありがとうございます。今後もご満足いただけるよう努めてまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」新座校	公表日	2025年 2月 15日
------	-------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		指導訓練室2か所+パーテーションで区切って対応している。	指導訓練室は使用回数消毒を行ってまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基準人員+加配職員で対応	教室支援レベルの底上げ・安定化を図っていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		年齢、障害特性に合わせた指導訓練室分けを行っている。また集中の妨げにならないよう過度な装飾は行っていない。	視覚でわかる絵を用いて案内をしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎朝の清掃+支援後の消毒作業を行っている。	教材も消毒作業を行っております。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		障害特性や支援内容で部屋の変更などを適宜実施し不公平感が出ないように工夫している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎年度、事業所アンケートを実施し改善点の把握改善を行っています。	FB時にも確認させていただいております。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		弊社HP内でアンケート調査結果を公表しています。	教室内に掲示しておりますのでご覧ください。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		事業所内での1on1から改善点を吸い出し適宜上長と相談し対応している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		発達支援研究所との連携で業務改善を行っている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		発達支援研究所の定例研修及びブロック内・ユニット内での研修を実施。	管理者が研修に参加し資料を共有しております。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		アセスメントを毎年実施し成長把握を行い支援に活かしている。	毎年確認させていただき個別支援計画に活かしております。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		社内標準のツールを使用している。	定期的な保護者への声かけ等によりニーズの確認を行い支援計画に落とし込みをかけている。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画作成の際は原案の段階で会議を実施し支援内容の確認作業を随時実施している。	支援の際は計画の支援内容から逸脱しないような内容を進めている。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援準備の段階で計画に目を通すよう意識付けを行っている。	児童発達支援管理責任者は支援を確認し計画に沿っているか確認を行っていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントシートを活用して成長過程の確認作業を行い支援内容に活かしている。	日々の支援で気付いたことは朝礼時に確認している。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画作成時に領域それぞれに合わせた目標設定を行い支援がやりやすいように具体的な内容を盛り込むように進めている。	支援内容はモニタリング後のミーティング時に実施している。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		支援内容は個々の指導員で作成しているが大枠は指導員ミーティングで共有されている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		指導員間で内容の共有を実施しているので固定化にならないような取り組みはできている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援がメインとなるため集団活動は不定期に実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に前営業日の確認を行い共有すべきことは対応できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後ではなく翌営業日に確認しているが緊急性がある場合は急遽打合せを実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後に支援記録は作成し対応している。	週に1回、前週の支援記録を確認し記入漏れ等がないかの確認を実施している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者と対面でモニタリングを実施し計画の内容が現在のお子さんの成長に合っているか随時検証している。	事業所内で対応できかねる支援もございましたので丁寧に説明させていただきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者もしくはよく知る指導員が帯同し参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の医療機関と協力医関係をお願いしており市の放デイ部会にも参加し連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		それぞれの事業所の特色を加味したうえでのご提案ベースにはなるが対応している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者からの希望に応じて対応している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		アシタエールとの連携をお願いしている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		子ども同士の交流はできていない。	今後、機会があったら交流できるよう進めて行きたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後のフィードバックの際に成長度合いをお伝えし共通理解の場を設けている。	必要に応じて家族支援も実施している。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		個別での関わり方などをお伝えする機会は設けているが全体では行っていない。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に契約書・重要事項説明書の読み合わせを行い保護者に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成前に保護者に支援目標・支援内容のニーズを確認し個別支援計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		サインを頂く際に説明・同意を頂いております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		フィードバック時にお問い合わせ頂くか別日で家族支援としてお話を伺う機会を設けております。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	今年度は実施できていないが次年度には計画を行い座談会形式でお話を伺う機会を設けた。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの相談等については校舎内ツールや朝礼時に共有し即対応を心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		不定期にはなりますがブログやInstagram投稿にて活動内容を掲載しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報情報は個人情報同意書に基づいて適切に対応しております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者に合わせた対応はどの方にも対応しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		オープンな行事は実施しておりませんが地区の自治会長との関わりから情報公開をしております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは待合スペースにファイルで準備がございます。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月テーマを決めて訓練等取り組んでおります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始前と毎年、新年度に入ったタイミングでフェイスシートにてご記入頂いております。	随時変更点はお受けいたします。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供がない事業所ではございますが面談時にアレルギーについてお伺いしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		防災訓練と同時に教室内の危険個所について確認を行っております。	危険個所に関しては随時対策を取っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		教室内で行われる危険予測は訓練後にご家族と共有させていただきます。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発生時に記録を作成しております。また記録に基づいて検証作業を行っています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		ブロック内の虐待防止委員会による研修から各事業所への落とし込み作業の中で事業所内研修として実施しております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		ブロック内の身体拘束防止委員会による研修から各事業所への落とし込み作業の中で事業所内研修として実施しております。		